

## JpGU2022 セッションへの投稿・参加のお誘い

日本地球惑星科学連合 2022 年大会の投稿受付が 1 月 12 日（水）に始まりました。  
本年も東北地理学会との共催で、以下のセッションが企画されております。

[H-GG01] 自然資源・環境に関する地球科学と社会科学の対話

セッション概要：

[http://www.jpгу.org/meeting\\_j2022/sessionlist\\_jp/detail/H-GG01.html](http://www.jpгу.org/meeting_j2022/sessionlist_jp/detail/H-GG01.html)

本セッションの趣旨は、地理学において自然地理学と人文地理学が相互におこなっている自然資源・環境に関する深い理解へ向けた対話にあります。地球科学と社会科学の対話は、分野横断型の視点を自らの存在意義とする地理学の立場に関するアピールでもあり、東北地理学会の目的である地理学の発展と応用に貢献することに合致すると考えられます。本年のセッションでは、昨年からはじめた「地球科学と社会科学の対話」の試みをより具体的に行う目的で、「成果発表型」に加えて、「対話型」の発表も歓迎いたします。また、本セッションはその対話が発表グループ内だけでなく聴衆も交えて進むよう総合討論の場を設け、対話を通じて議論が深まり広がるよう工夫していきます。

会員の皆さまにおかれましては、研究成果を公表し議論する機会として、このセッションでの発表、当日の参加を積極的にご検討頂きたく、ご案内致します。早期投稿締切は 2 月 3 日(木)、最終投稿締切は 2 月 17 日(木) です。

ご参考までに、昨年の本セッションでは以下のタイトルによる発表がありました：

- [01] スリランカの水害常襲地における災害適応戦略：豪雨洪水災害の対応と復興を事例に
- [02] 経済発展と環境改善は両立可能か？—中国内モンゴル自治区における研究の経験から—
- [03] 兵庫県美方郡香美町小代区における「但馬牛システム」の変化—「ここならではの牛」をどう育み続けるか—
- [04] 地理学における人文・自然現象：資源・環境研究の諸問題
- [05] 地形変化から見た日本の荒廃林地（ハゲ山）及び荒廃景観の意味とその変遷：地理学における対話
- [06] Biomagnetic monitoring investigations of the spatial distribution of atmospheric fine magnetic particles: case study of the Toyama-shi area, Japan
- [P01] 山菜採取者の階層構造と採取行動の地域性について～石川県小松市那谷町周辺の事例～
- [P02] 白山市で吹走する「白山おろし」の実態と住人の認識について
- [P03] 松島湾の牡蠣養殖業由来の竹廃材による炭やきプロジェクト
- [P04] 中央ケニア半乾燥地域の土壌浸食と採砂活動を取り巻く土地環境および社会環境条件